



つたか調べてみたら、巨盗稲葉小僧新助が三四才で刑死したと出ていた。

まえにも述べたが、この宿には電気がない。半原の塩川鉱泉だつてそうなのだから驚くには当たらないかも知れないが、ローカル線とは云え房総西線というレツキとした国有鉄道の沿線である。しかもその駅から二・五軒の所に電気がきていないと思うと、やはり驚かざるを得なかつた。ここにくるまでの途々に点在する農家は、たとえ暗くても全部電灯が灯つていた。どうやらこの一軒だけ取り残されたとみえる。

「よく地図が読めますね。若い人は羨ましいですわね」といいながら主はランプを引き下げてくれたが、

「やはり電灯がいいです。便利ですし芯が油に落ちやしないかという心配もありませんから。第一不経済です。毎日毎日ホヤ掃除をしなきゃならないし、ホヤは年中こわれるんですよ。あなた方にはわからんでしょうな」とこぼしていた。そして電灯をひくつもりだが、たつた一軒なので工事代として二〇万円も負担しなければならぬといつていた。これも私たちの知らない話

たせなかつた。大体宿はこういう塩梅であつた。これは宿の主から聞いた話だが、岩井町の岩井といふところには、この宿が一軒あるさうであつた。あと人の手に馴らされたものといへば田が十数枚と、宿の前の堰が九段五畝ですべてで、牛も犬も飼つていないのである。堰は天明五年に出来たといふからいまから一七三年前の構築である。その年にどんな事件があつたか調べてみたら、巨盗稲葉小僧新助が三四才で刑死したと出ていた。

たやはりここは日帰りの湯治客を相手

であつた。

電気がないけれど有線放送が入つていゝる。三千円づつ出し合つて農協で作つたそうだが、昨年道志村へいつたときも、同じものがあつた。道志村では千葉へ見学にいつて作つたというから、こつちのほうが大体先輩格であるらしい。時間で電話の用を足せるが、その他の時間は農協でかけるラジオが聞ける。

「あしたの天気はどうだろう」と聞いたら、翌る朝のラジオできけばわかると答えた。翌る朝天気予報を聞くと思つたが、聞きそこねた。「お客さんがお寝みのときラジオをかけては悪いと思つたので」と婆さんは云訳をしていたが、そんな調子だと天気予報を聞く日は稀だろう。

かんじんの薬湯に入れるまでには、随分永い時間待たされた。日帰りの子供連れれの夫婦が帰らなかつたためでもあろうが、それにしても待たされた。だから主が「この薬湯は硫化水素泉で——」と、分析の結果を語り、胃には著しく効果があり、傷によく効くことは古くから知られてゐる等、その効能書を並べているときも、なかばうわの空であつた。それよりも千葉の町外れで、月見うどんを一杯入れただけの胃の腑が承知しなかつたのである。

大体、小さな鉱泉宿に限つて能書が多

あなたのクラブモデルに
スペシャルクラブ



好評発売中

17号スワローサドル
サイズ53 $\frac{1}{4}$ "×11 $\frac{1}{2}$ "
重量 800g

2019
4598
0548

東京都大田区東六郷3ノ5 蒲田 有明工業株式会社

い。医者に見はなされた病人がなつたとか、傷に薬はいらぬとかいつた類である。それだけに宿の主は奉仕的である場合も多いわけだろう。これが有名な温泉場へ行つたり、バスが玄関の前でとまるような鉱泉だと至極無関心で、鉱泉分析表には効く病名が書いてあるのに、女中に聞いても「さあ」といふような顔をする。

この主が私たちを大変待たした理由は浴場へいつたらすぐわかつた。新しい客のために湯あかをきれいに金網ですくい出し、鉱泉を一杯に注ぎ立て、あらためて熱くしていたのである。浴槽は勿論流し場もきれいに磨いてあつた。流しは

に出来たといふからいまから一七三年前の構築である。その年にどんな事件があ

もりだが、たつた一軒なので工事代として二〇万円も負担しなければならぬといつていた。これも私たちの知らない話

入れただけの胃の腑が承知しなかつたのである。大体、小さな鉱泉宿に限って能書が多

出し、鉱泉を一杯に注ぎ立て、あらためて熱くしていたのである。浴槽は勿論流し場もきれいに磨いてあつた。流しは

石を敷きつめてあつたが、浴槽も石作りであつた。

「これじゃ沸かすのに大変だろう」

「大変は大変です。やはり木の湯舟のほうが、沸きが早くて経済的なんです。けれど、やはりこの方がさつぱりしますんで——。そうですね、薪は一日に三十五、六把くらい使う日もあります」

昨年裏丹沢の中川の湯に泊り、箒沢から奥へ入つたとき薪作りの一家に会つたが、彼らは一日に十五、六把がせいぜいと答えた。そんな話がいまさらのように思い出された。

窓際に石油ランプの吊下つている浴室は広くて、旅に来たという思いをしみじみと味わせてくれた。北風のぶつかる音が妙に淋しかった。

土り際に読んだら、大人三〇円、子供二〇円、一日百円と料金表が貼つてあつ

た。やはりこゝは日帰りの湯治客を相手の鉱泉らしい。

湯から上つて座布団にあぐらをかいていたら、腰がホテツて来た。柴田君も同じことをいつていたので、食膳を運んできた婆さんにその話をしたら、

「そんな結構なことはないじやありませんか」

と口に手を当てて笑つていた。

大部古い話だが、木更津に泊つたときのことである。同宿の或るセールスマンがこんなことをいつていた。

「木更津じやこの伏見屋が一番いいです。何故つて？ 女中が飯のとき附いていないからです。私しや魚の骨に湯をかけて、それを吸うのが大好きで家じやきまつてやるんですが、旅に出ると、き

まつて女中が飯が終るまで附いているでしょう。あまりかつこうよくないからで

きないんです。千葉へきてそれができないのはつまらんです。ここだけです、その点で気に入つたのは——」

岩婦の宿をもし彼が知つていたら、こ

こもきつと推薦するに違いない。婆さんと息子と二人で食事を運んできただけ

ある。酒の好きな二人は、まずお銚子をたのんで、ちびりちびりやりはじめたが、それは静かなものであつた。若山牧水の「酒は静かに飲むべかりけり」という歌が、なんのきつかけもなしに、ふと思ひ浮べられるほどの静かな、そしてうまい酒であつた。

あとで献立を書いてもらわなかつたことを悔いたが、同じ山の湯でもさすがに房州である。まぐろの刺身は定石だが、鱈を開きにして、真中に海苔をはさんだ

酢の物の味は格別だつたし、名前の知らない白身の焼ざかなも美味かつた。欲を

いへばきりがなが、ともかく六品ついで一泊、二食付四五〇円という値段は信じられないほど安い。誰が料理を作つて

いるのかをあとで聞いたら、娘だといつていた。これだけの料理ができれば嫁に

いつても喜ばれるだろうと婆さんにいつたら、

「出ていかれちや困るんです。こうして親子四人だから出来るんです。そうはいつても、いつまでもというわけにはいかなんでしようけど——。当人もこんな山の中にいるのを嫌がつてゐるんですがね」

といつていた。食後の一浴は僅かな量の酒をよりまわらせてしまつた。ランプを下けてもらつて床にいつたが、その噴隣の客の話しが

スポーツ車専用
超スピード



第一のナイロンタイヤ

超 快 速

1. 極細で強力
のナイロン糸
2. 強弾力の純良ゴム
3. 独特の成型法

超 強 靱

- ・スタレの強さは
綿の3倍強
- ・ビニロンの2倍強

強 耐 熱 性

特殊処理のナイロン
糸で耐熱性強し

超 緩 衝

ゴムは最高の純良ゴムで、1 $\frac{3}{4}$ で1 $\frac{3}{4}$ に
匹敵するクッション
尚ショックに強い

多 條 鋼 線

ビード(耳)は多条鋼
線(ノージョイント)
で、折曲げ自由、丈
夫で外れない

カラー
5 色

第一ゴム製造K.K.

東京都調布市深大寺 2335